



令和2年度当初予算案

『共生社会・生活重点予算』

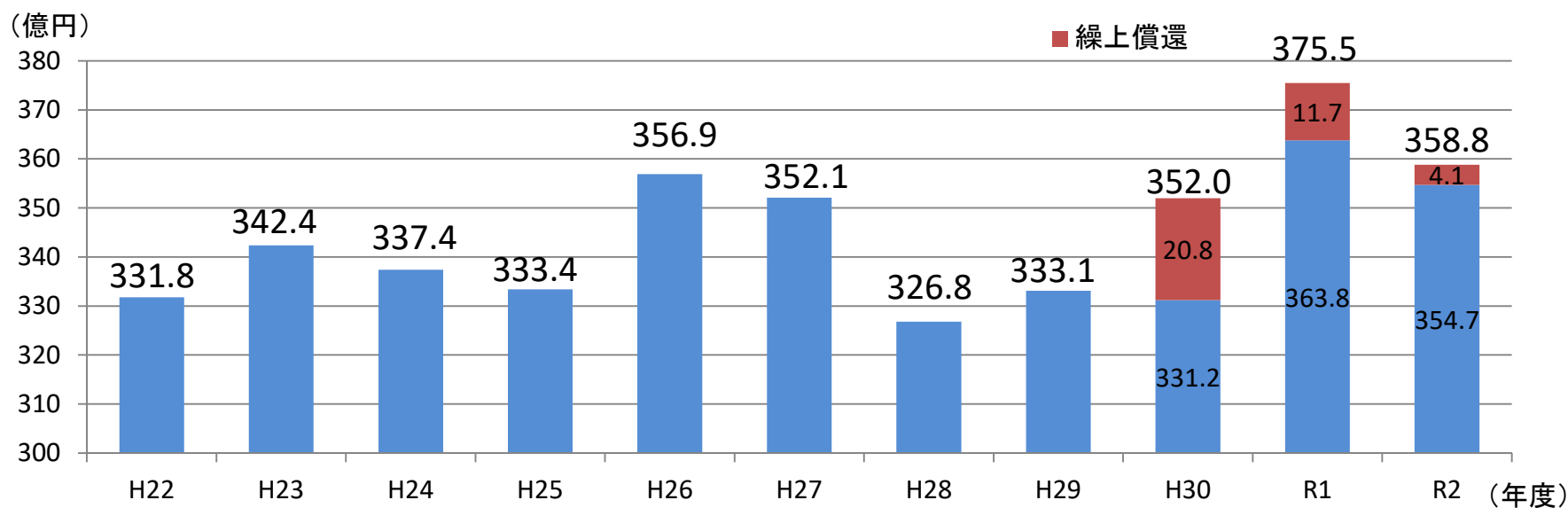
渋川市

令和2年度一般会計予算規模

総額 358億8,000万円

(前年度予算比 ▲4.5%)

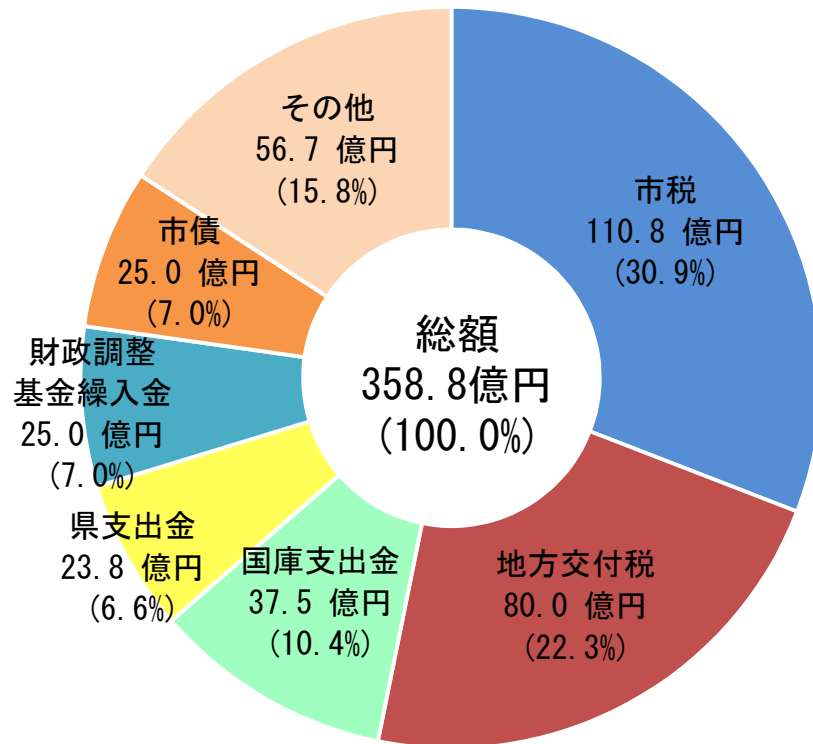
- ・ 鉄鋼スラグ対策工事に係る予算が増加したものの、市民会館耐震補強工事などの市単独普通建設事業費の減少、また繰上償還額の減少により、前年度に比べ約16億7千万円の減
- ・ 平成22年度以降では、令和元年度に次ぐ予算規模



歳入の状況

- ・ 地方法人税制の改正や市内主要企業の減益により法人市民税の減少を見込んだため、市税が減少（▲1億2千万円）
- ・ 普通建設事業費の減により市債が大幅に減少（▲10億3千万円）

（単位：億円）

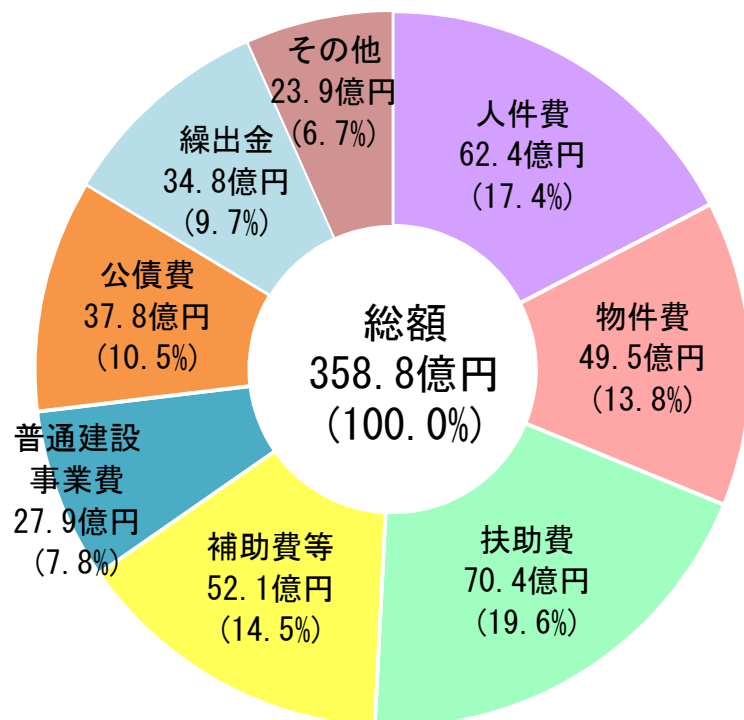


区分	R2年度	R元年度	対前年度比較	
			増減額	増減比率
市税	110.8	112.0	▲ 1.2	▲ 1.1%
うち市民税	42.0	44.5	▲ 2.5	▲ 5.6%
個人市民税	34.5	34.9	▲ 0.4	▲ 1.1%
法人市民税	7.5	9.6	▲ 2.1	▲ 21.9%
うち固定資産税	53.9	53.3	0.6	+1.1%
地方交付税	80.0	77.0	3.0	+3.9%
国庫支出金	37.5	36.8	0.7	+1.9%
県支出金	23.8	23.8	0.0	+0.0%
財政調整基金繰入金	25.0	26.7	▲ 1.7	▲ 6.4%
市債	25.0	35.3	▲ 10.3	▲ 29.2%
臨時財政対策債	9.4	9.6	▲ 0.2	▲ 2.1%
合併特例事業債	10.9	21.7	▲ 10.8	▲ 49.8%
その他の通常債	4.7	4.0	0.7	+17.5%
その他	56.7	63.9	▲ 7.2	▲ 11.3%
合計	358.8	375.5	▲ 16.7	▲ 4.5%

歳出の状況

- ・ 市民会館耐震改修工事の完了により、市単独普通建設事業費が減少
- ・ 下水道事業等の企業会計への移行に伴う歳出科目の変更により繰出金が減少し補助費が増加

(単位：億円)



区分	R2年度	R元年度	対前年度比較	
			増減額	増減比率
人件費	62.4	62.3	0.1	+0.2%
物件費	49.5	46.2	3.3	+7.1%
扶助費	70.4	70.3	0.1	+0.1%
補助費等	52.1	36.7	15.4	+42.0%
普通建設事業費	27.9	41.5	▲ 13.6	▲ 32.8%
単独事業費	22.4	34.7	▲ 12.3	▲ 35.4%
補助事業費	5.5	6.8	▲ 1.3	▲ 19.1%
公債費	37.8	46.6	▲ 8.8	▲ 18.9%
繰出金	34.8	50.3	▲ 15.5	▲ 30.8%
その他	23.9	21.6	2.3	+10.6%
合計	358.8	375.5	▲ 16.7	▲ 4.5%

※R2年度から会計年度任用職員制度が施行されることに伴い、物件費として算出していた賃金を人件費として算出することから、R元年度の賃金を物件費ではなく人件費として算出

基本方針 「共生社会・生活重点予算」

★予算を構成する3本の柱★

1. 暮らしやすい 共生社会をつくる

- (1) 高齢者が暮らしやすいまち
- (2) 外国人が暮らしやすいまち
- (3) 障害を持つ人が暮らしやすいまち
- (4) 安全で暮らしやすいまち
- (5) いつまでも健康で暮らせるまち
- (6) 地域がつながり暮らしやすいまち
- (7) 自然や環境と共生するまち

2. 活力ある未来をつくる

- (1) 子どもたちの「育つ」環境を支援
- (2) 子どもたちの「学ぶ」環境を支援
- (3) まちの元気を担う産業振興を推進
- (4) まちに人を呼び込み交流・定住人口の増加による地域活性化を推進
- (5) 地域活性化のための基盤を整備
- (6) まちの誇りである文化を育み
未来へつなぐ

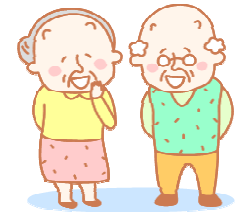
3. 簡素で効率的な 行財政の推進

- (1) 行政事務の効率化と事業見直し
- (2) 持続可能な行財政運営
- (3) 歳入確保対策
- (4) 行政事務の適正化
- (5) ゼロ市債による効率的な事業実施

1. 暮らしやすい共生社会をつくる

(1) 高齢者が暮らしやすいまち

- ・ 〈新〉 高齢者等のごみ出しが困難な世帯に対し、自治会やボランティア団体など、地域住民が互助により行うごみ出しを支援
(高齢者等ごみ出し支援事業・990千円)
- ・ 〈新〉 北橋地区においてデマンドバスを試行導入し、本格導入に向けた利用状況等の検証を実施
(バス交通デマンド化検証事業・3,031千円)
- ・ 〈拡〉 タクシー券による高齢者移動をより効果的・効率的に行うため、「相乗り券」を新設し高齢者の移動を支援
(高齢者移動支援事業・7,048千円)
- ・ 〈拡〉 高齢者の豊かな経験や知識を地域で活かすためアクティブシニアへの支援を行うほか、集いの場となるシルバーカフェにより高齢者の社会参加を推進
(高齢者社会参加促進事業・653千円)



(2) 外国人が暮らしやすいまち

- ・ 〈新〉 介護人材不足に対応するため、外国人介護人材の家賃の3分の1（上限1万円）を助成。またバスカードの交付により公共交通による移動支援を実施
（外国人介護人材確保対策事業・650千円）
- ・ 〈新〉 ホストタウン相手国（ニュージーランド、モーリタニア）の文化などの紹介やパラリンピアンを招いての交流会などを実施
（東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業・4,945千円）
- ・ 〈新〉 外国人の施設利用を円滑にするため、公共サインガイドラインを整備
（共生社会推進事業・6,353千円）

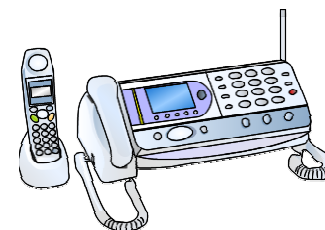


(3) 障害を持つ人が暮らしやすいまち

- ・ 〈新〉 障害を持つ人と心の共生を図るため、市民を対象にしたDET※研修（障害平等研修）等を実施 ※DET=Disability Equality Training
（地域共生型地域包括ケアシステム構築事業・226千円）

(4) 安全で暮らしやすいまち

- ・ 〈新〉 高齢者や障害者などの要配慮者の方でスマートフォンによる情報収集が困難な世帯に電話、FAXなどで災害や避難勧告情報を個別に配信
また、防災行政無線が聞き取りにくい世帯に防災行政無線の個別受信機設置費用の一部を助成
(緊急防災情報配信サービス事業・2,677千円)
- ・ 〈新〉 大規模自然災害から市民を守る指針となる計画を策定
(国土強靱化計画策定事業・3,000千円)
- ・ 〈新〉 昨秋の台風19号の検証会議を受け、災害対策本部を設置する本庁舎の一部電力を確保するため本庁舎に非常用発電機を整備
(緊急防災対策事業・48,867千円)
- ・ 〈拡〉 自主防災組織の活動を積極的に支援するため、地域防災マップの作成助成を新たに行うほか、研修会や防災訓練などの補助を拡充
(自主防災組織活動支援事業・4,083千円)



(5) いつまでも健康で暮らせるまち

- ・ 〈新〉健康づくりの動機付けを行うため、ウォーキングや健診、健康教室の参加者へ健康ポイントを付与。また、赤城健康公園の改修を実施
(渋川ウォーキングチャレンジ事業・17,707千円)
(健康づくり支援事業・27,478千円)
- ・ 〈新〉KDBシステム※の活用により高齢者の健康課題を分析し、医療関係者と連携し地域の特性に合った介護予防を強化 ※KDBシステム=国保データベースシステム
(高齢者の保健・介護予防一体化事業・1,065千円)
- ・ 〈新〉国・県の糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、非肥満高血糖者の生活習慣を把握するためのアンケートや予防教室を開催
(糖尿病性腎臓病等重症化予防事業・2,225千円)
- ・ 〈拡〉がんについての正しい理解と健診受診を促すため、市内医療機関の医師による講演会の開催を支援
(がん対策事業・78,430千円)



(6) 地域がつながり暮らしやすいまち

- ・ 〈新〉生涯学習や地域防災、子育て支援など多機能で利便性が高く、地域の拠点となる古巻公民館を整備するため、基本設計に着手
(古巻公民館整備事業・29,073千円)
- ・ 〈新〉地域の活動の場として活用する広場等の新規整備や既存の広場等へトイレを設置するなどの改良、改修に係る費用の一部を助成
(コミュニティ広場等整備補助事業・1,500千円)
- ・ 地域コミュニティや交流活動、伝統文化の継承を支援するため、地域の小さな祭りや行事を支援
(地域のまつり等応援事業・1,350千円)
- ・ 住民の相互理解と融和を図り住みよい地域づくりを円滑に効率的に進めるため、自治会への委託や生涯学習活動推進への補助を実施
(自治会連合会等支援事業・123,972千円)



箱田の獅子舞

(7) 自然や環境と共生するまち

- ・ 〈新〉 殺処分される猫を減らすとともに、猫による生活環境の悪化の防止を目的として、猫の去勢、不妊手術の費用の一部を助成
(動物愛護推進事業・650千円)
- ・ 〈新〉 食品ロスの削減やプラスチックごみ削減、再生可能エネルギーへの転換による温室効果ガス削減などを2050年までに実現させるための取組目標を設定するための調査を実施
(「し・ぶ・か・わ※2050環境目標」調査事業・100千円)



※し=食品ロスの削減、ぶ=分散型エネルギーによる災害時の停電の減少 か=化石燃料から再生エネルギーへの転換による温室効果ガス削減 わ=ワンウェイプラスチック使用削減によるプラスチックごみ削減

- ・ 〈新〉 森林環境譲与税を活用し、出生のお祝いとして新生児に県産材を使った木製積木を贈呈
(新生児ウッドスタート事業・2,310千円)
- ・ 〈拡〉 電気自動車等充電システムなど対象機器の拡充を図り、住宅用スマートエネルギー機器の普及を支援
(住宅用スマートエネルギー機器設置助成事業・3,250千円)

2. 活力ある未来をつくる

(1) 子どもたちの「育つ」環境を支援

- ・ 〈拡〉 多様化する保育ニーズに対応するため、伊香保地区、小野上地区に認定こども園を設置し、幼児教育と保育の一体化を図り市の子育て施策の充実を推進
(伊香保こども園・かに石こども園運営事業・49,199千円)
- ・ 〈拡〉 「こども発達相談室」を設置し、専門職による相談等を行うほか、乳幼児検診や関係機関と密接に連携し切れ目のない支援を実施
(すこやか子育て発達支援事業・15,791千円)
- ・ 国の幼児教育・保育料無償化の対象となる認可外施設等の利用料の無料化、併せて対象外の児童（0～2歳児）へも市単独で同様の無料化を実施
(認可外施設等利用給付事業・5,680千円)

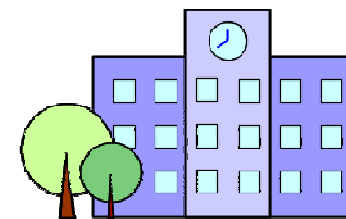


- ・ 国の幼児教育・保育無償化の対象外の児童（0～2歳児）も市は対象とし、保育料の「完全無料化」を引き続き実施
（保育料の無料化・394,759千円（うち市負担分173,834千円））
- ・ 〈拡〉生活に困窮している世帯の中学生を対象にした学習支援や生活指導の実施回数を増やし、きめ細やかな支援を実施
（子どもの学習支援事業・3,555千円）
- ・ 渋川すこやかプラザ内の子育て支援センターの運営及び民間保育所、認定こども園に子育て支援センター事業を委託
（子育て支援センター事業・84,065千円）
- ・ 小学校の放課後や長期休校日に、就労などにより保育のできない家庭の子どもを預かる学童クラブへの委託及び運営費の補助を引き続き実施
（放課後児童健全育成事業・147,663千円）



(2) 子どもたちの「学ぶ」環境を支援

- ・ 〈新〉 令和2年度から小規模特認校となる
小野上小学校校庭の芝生化を行い、
特色ある教育環境を推進
(県の「子どもがスポーツに親しむ環境の整備事業」を活用)
(みんなの校庭芝生化事業・32,899千円)
- ・ 〈新〉 児童へのきめ細やかな教育を行うため、小学校1～3年生までの学級に
スタディアシスタント（学習補助員）を配置
(小学校スタディアシスタント事業・18,362千円)
- ・ 〈新〉 地域全体で学校安全に取り組むため、小学校にスクールガード・リー
ダーを配置
(地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業・446千円)
- ・ 〈新〉 建設中の（仮称）アレルギー対応給食センター・東部学校給食調理場
の整備を進め、令和2年度の2学期から赤城・北橘地区の小・中学校に学校
給食の提供を実施。また市内の小中学生への給食費の無料化を継続
(学校給食共同調理場（7大アレルギー対応）整備事業・850,896千円)
(給食費の無料化による市負担額・278,969千円)



- ・ 〈新〉 将来、市での活躍が期待できる人材を発掘するため、市へ貢献する意思を持つ市内在住・在学の高校生などを支援するための奨励金を給付
(ふるさと渋川学生奨励金事業・325千円)
- ・ 〈拡〉 学生に学習の場を提供するための「すたでいばんく」
「インすたでいほーる」の運営を実施
(市内高校生連携事業・7,696千円)
- ・ 令和元年度の小学校に続き、中学校9校に
大型提示装置、実物投影装置を配置
また、指導用コンピューター、無線LANアクセス
ポイントを整備
(学ぶ楽しさを味わうICT活用推進事業・125,940千円)
- ・ 普通教室の整備が完了している小学校12校について、
令和2年度から特別教室にも全て空調を整備
(小学校特別教室空調機器整備事業・143,616千円)



大型提示装置を使った授業
(古巻小学校)



(3) まちの元気を担う産業振興を推進

【新産業ゾーンの創出・企業誘致】

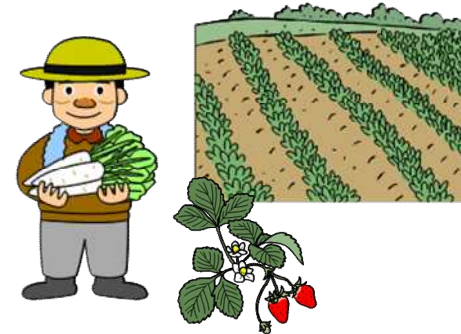
- ・ 〈新〉企業誘致の受け皿となる適地の選定や新産業団地造成に向けた調査・研究を実施
(新産業立地推進事業・10,369千円)
- ・ 〈拡〉企業の新規立地、既存工場の増設、雇用促進などの奨励金を継続するほか、産業用地取得助成金制度等の調査・検討を実施
(企業誘致促進事業・32,591千円)

【商業振興】

- ・ まちなか空き店舗への出店支援や商店改装等への助成、まちづくりイベント実施などへの補助を実施
(まちなか空き店舗活用にぎわい創出推進事業・11,485千円、商店改装等助成事業・7,000千円、にぎわいイベント創出事業・2,600千円)
- ・ しぶさん、証明コーナー、こけしギャラリーなどの複合機能を有し、JR渋川駅前の交流拠点である渋川駅前プラザを活用したまちなかの活性化を推進
(渋川駅前交流センター事業・8,601千円、駅前証明サービスコーナー運営事業・3,639千円、渋川地区名産品センター運営事業・2,901千円)

【農林業振興】

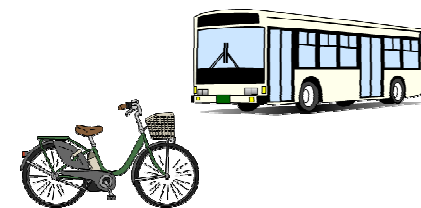
- ・ 〈拡〉市の畜産業の主力であり、県内3番目の出荷量を誇る養豚産業をCSF（豚熱）から守るため、感染防止、防疫対策として繁殖豚へのワクチン接種費用の2分の1を助成
(CSF（豚熱）防疫対策事業・2,083千円)
- ・ 〈拡〉産地化、ブランド化を推進するため、県の野菜重点8品目と地域推進5品目について、県が補助する施設や機械整備費用に市が上乗せで補助を実施
(野菜王国・ぐんま総合対策事業・12,833千円)
- ・ 〈拡〉ぐんま緑の県民基金市町村提案型事業を活用し、地域住民や自治会、NPO、ボランティア団体などが行う、荒廃した里山や平地林等の整備費用を助成
(緑で包む里山整備事業・9,364千円)
- ・ 〈拡〉有害鳥獣捕獲隊による捕獲、狩猟期における捕獲奨励金の交付に加え、狩猟免許等の取得費用の助成を新規で実施
(有害鳥獣対策事業・27,392千円)



(4) まちに人を呼び込み交流・定住人口の増加による 地域活性化を推進

【魅力ある観光地づくりや各種イベント実施による地域振興】

- ・ 〈新〉 群馬DC期間に伊香保温泉で開催される台湾関連イベントにあわせ、新緑の河鹿橋ライトアップなど、伊香保地区を盛り上げるイベントの実施を助成
(伊香保温泉DC関連イベント支援事業・1,000千円)
- ・ 〈新〉 羽田空港から伊香保温泉をつなぐ高速バスの新規運行を支援
(観光周遊誘客支援事業・4,000千円)
- ・ 〈新〉 伊香保温泉で新たに取り組む電動アシスト付き
レンタサイクルによる観光周遊促進事業の実施を助成
(伊香保温泉レンタサイクル周遊促進事業・722千円)
- ・ 〈拡〉 渋川へそ祭り、伊香保ハワイアンフェスティバル、渋川山車まつりなど
各種イベントの開催費用を助成
(渋川へそ祭り実施事業・7,800千円、伊香保ハワイアンフェスティバル実施事業 10,000千円、
渋川山車まつり実施事業・8,410千円)
- ・ 群馬DCを盛り上げるため、関連イベントや首都圏での観光キャラバンを実施
(群馬デスティネーションキャンペーン実施事業・1,110千円)



- ・ 〈拡〉 交流人口、関係人口の増加を目的に、渋川市民会館など市内施設の活用により大型集客が見込まれるビジネスイベント等の開催や、それに伴う市内への宿泊の支援を実施
(イベント誘致事業・4,500千円)

【市の魅力の発信により移住・定住、ふるさと回帰を推進】

- ・ 〈拡〉 空き家バンクの活用を進めるとともに、家財道具の処分に係る経費の補助や、接道しない狭小地等を隣接地に統合するための登記費用等への助成を新設
(空家等対策推進事業・1,387千円)
- ・ 市内への移住を促進するため、転入者の住宅取得費用助成や移住に係る支援金を助成
(移住者住宅支援事業・15,400千円)
(渋川市移住支援金事業：15,200千円)
- ・ 居住目的のリフォーム費用の一部を助成し、空き家の有効活用による定住を促進。また、空き家の解体助成も引き続き実施
(空家活用等支援事業・17,000千円)



(5) 地域活性化のための基盤を整備

- ・ 〈拡〉 交通の要衝としての立地を活かした産業や観光の振興、
企業立地などを振興するため、幹線道路網へのアクセス道路を整備
(市道折原川島線道路改良事業(金井地内)・14,608千円)
(市道1-5595号線道路改良事業(金井地内)・13,351千円)
(市道1-2046号線外2路線道路改良事業(有馬地内)・158,245千円)
- ・ 〈拡〉 鉄道を活かした公共交通の利活用推進を図るため、JR渋川駅西側広場の改修を行うための設計業務や東側送迎乗降場の暫定整備を実施。
また、JR八木原駅西側駅前広場の用地測量、補償の算定業務、
東側駅前広場等の用地取得交渉などを実施
(JR渋川駅周辺整備事業・55,007千円)
(JR八木原駅周辺整備事業・13,002千円)
- ・ 都市機能や土地利用、まちのあり方などの計画を策定
(都市計画再編事業・13,565千円)
(立地適正化計画策定事業・17,070千円)
(都市計画マスタープラン策定事業・8,943千円)
(JR渋川駅周辺地域再生構想策定事業・20,955千円)
(渋川市版生涯活躍のまち構想策定事業・18,424千円)



- ・ 〈拡〉 中村緑地公園を、子どもから高齢者まで多目的に活用できる広場として整備をするため、進入路の設計を行うほか、坂東橋緑地公園のトイレ改修を実施
（中村緑地公園整備事業・18,516千円）
（公園トイレ洋式化整備事業・14,037千円）

（6）まちの誇りである文化を育み未来へつなぐ

- ・ 〈拡〉 金井東裏遺跡をはじめとする榛名山二ツ岳の噴火による古墳時代の遺跡を市内外に発信するため、講座や現地ツアーを開催するほか、有識者により活用策を検討
（榛名山噴火関連遺跡等活用事業・2,647千円）
- ・ 〈拡〉 渋川市ゆかりの先人の功績に光をあて後世に継承するため、偉人展の開催や冊子（「（仮称）しぶかわのえらい人たち」）を作成
（ふるさと渋川再発見事業・1,883千円）

3. 簡素で効率的な行財政の推進

(1) 行政事務の効率化と事業見直し

- ・ 〈新〉 一般財団法人渋川市公共施設管理公社が有する専門性やノウハウを活用し、市組織のスリム化と効率化を図るため、イベント誘致やスポーツクラブの活動、体育・公園施設の管理等の業務を公社へ移管
(まちづくり事業・62,153千円)
(体育施設管理事業・112,268千円)
(都市公園等施設管理事業・131,817千円)
- ・ 〈拡〉 AI（人工知能）の活用による会議録作成システム、定期的なシステム入力などの自動化を行うRPA（Robotic Process Automation）、手書き文字を読み取りデジタル化するAI-OCR（Artificial Intelligence-Optical Character Recognition）を税分野や内部事務業務へ導入
(情報システム運用事業・207,666千円のうち5,082千円)



- ・ 事業の見直し、組織の簡素化
 - *事業レビューを実施し、ゼロベースで既存の事業の見直しや統廃合を実施。9事業を廃止、21事業を見直し。事業見直しによる削減額は約77,000千円。

〈廃止した主な事業〉

- ・ 渋川伊香保温泉トレイルラン実施事業 (▲5,189千円)
- ・ 乗り合いバスモニター事業 (▲3,015千円)
- ・ 職員提案事業 (▲7千円)

〈見直した主な事業〉

- ・ 職員研修事業 (▲1,243千円)
- ・ 選別農薬農法指導員 (▲919千円)

*職員定数の見直し (850人→780人、▲70人) ※令和2年3月定例会に議案を提出

*令和2年度の組織機構見直しにより、3課・室、1課内室を削減

(2) 持続可能な行財政運営

- ・ 借入利率1.8%以上1.9%未満の公的資金の市債を繰上償還
利子削減見込額：▲760千円
(繰上償還額：406,778千円・R元：1,171,388千円)
- ・ 市長等特別職の給料の削減 ▲1,400千円

(3) 歳入確保対策

- ・ 〈新〉 ハワイ公使別邸及びガイダンス施設の充実化を図るため、新たに入館料を徴収（1,630千円）
- ・ 市有財産利活用会議により方針決定された未利用地の売却など、市有資産の経営的な運営と市有資産のファシリティマネジメントを実施
（市有地売払収入見込 14,000千円）
- ・ コンビニエンスストアやスマートフォンのアプリによる納付機会の拡充
（市税収納率向上対策事業・8,799千円）
- ・ ふるさと応援寄附金、企業版ふるさと納税の積極的な活用

(4) 行政事務の適正化

- ・ 〈新〉 令和3年の公文書管理条例全面施行に向け、公文書分類基準を策定
（文書管理改善支援業務委託・3,377千円）
- ・ 〈新〉 適正な行政事務執行を徹底するためのコンプライアンス研修実施や内部統制の進行管理を実施
（行政事務執行適正化推進事業・187千円、内部統制推進事業・7千円）

(5) ゼロ市債による効率的な事業実施

- ・ 事業効果の早期発現と公共工事の平準化を図るため、令和元年度にゼロ市債（債務負担行為）を設定し契約事務を前倒しし、効率的に事業を実施

〈一般会計・125,345千円〉

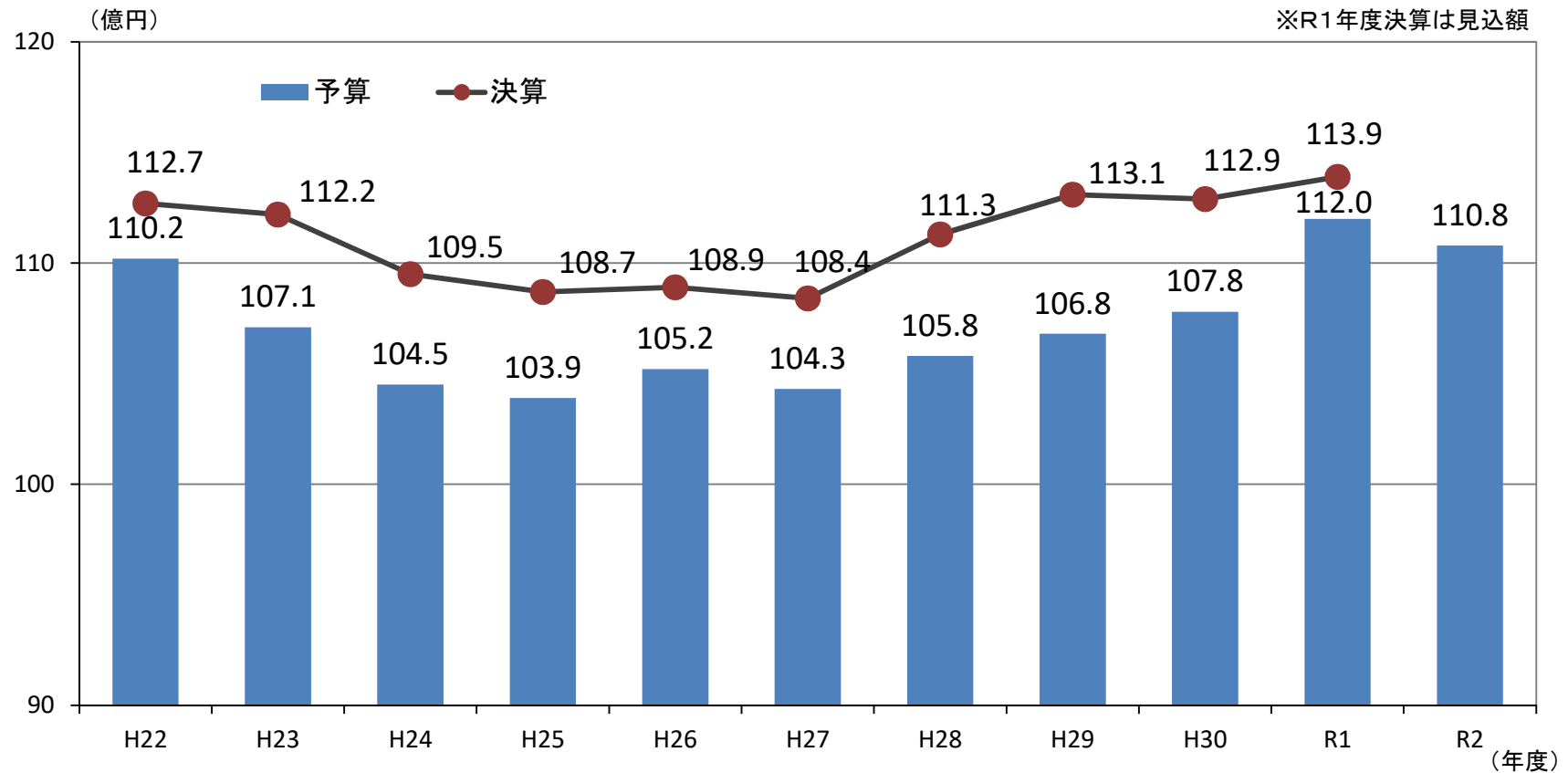
- ・ 伊香保地区外環道路整備事業（伊香保地内）（43,615千円）
- ・ 生活道路等緊急整備事業（11,671千円）
- ・ 市道6-5007号線排水路整備事業（23,848千円）
- ・ 公民館施設等改修事業（46,211千円）

〈特別会計（伊香保温泉観光施設事業特別会計）〉

- ・ ロープウェイ施設管理事業（88,264千円）

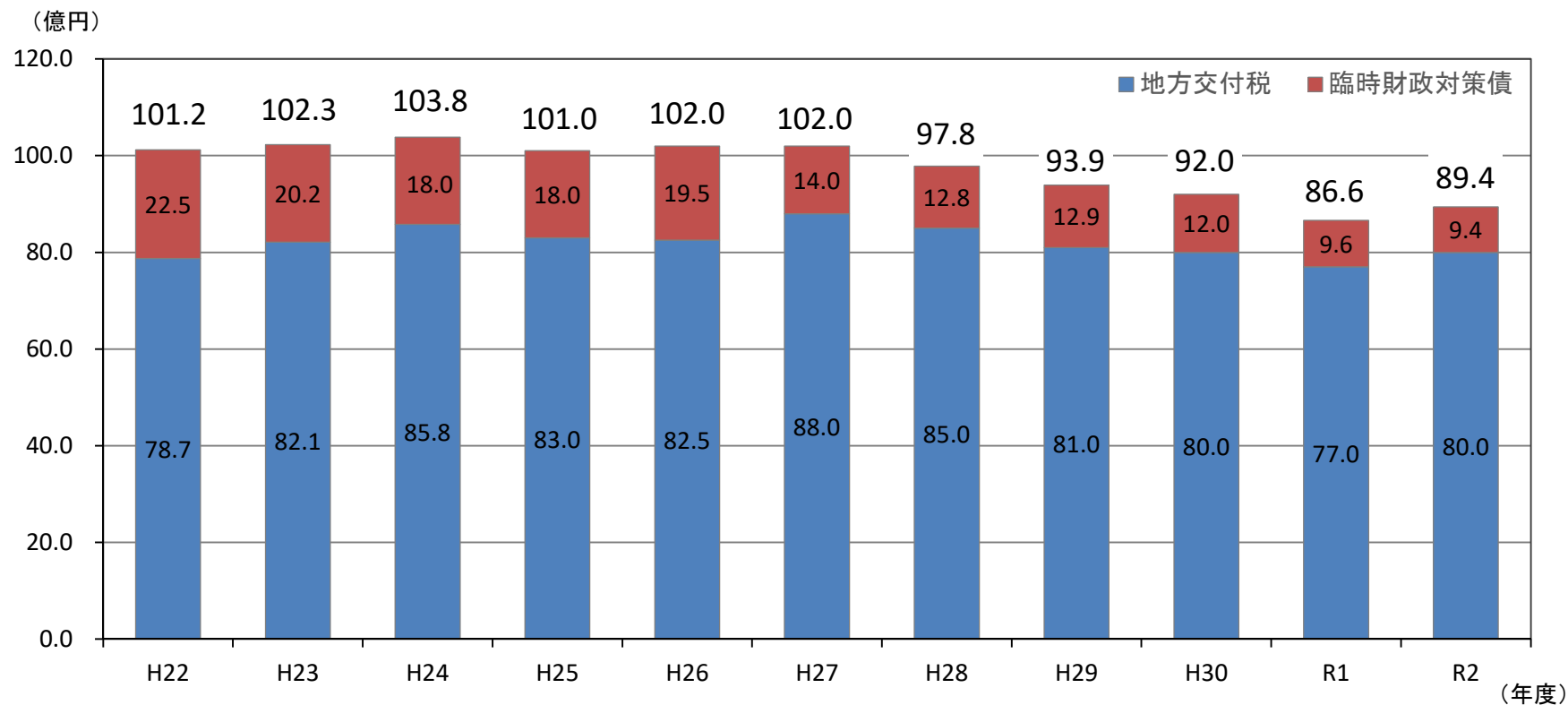
市税の推移

- ・ 固定資産税などは微増となるが、地方法人税制の改正や市内主要企業の減益により法人市民税の減少が見込まれるため、1億2千万円の減



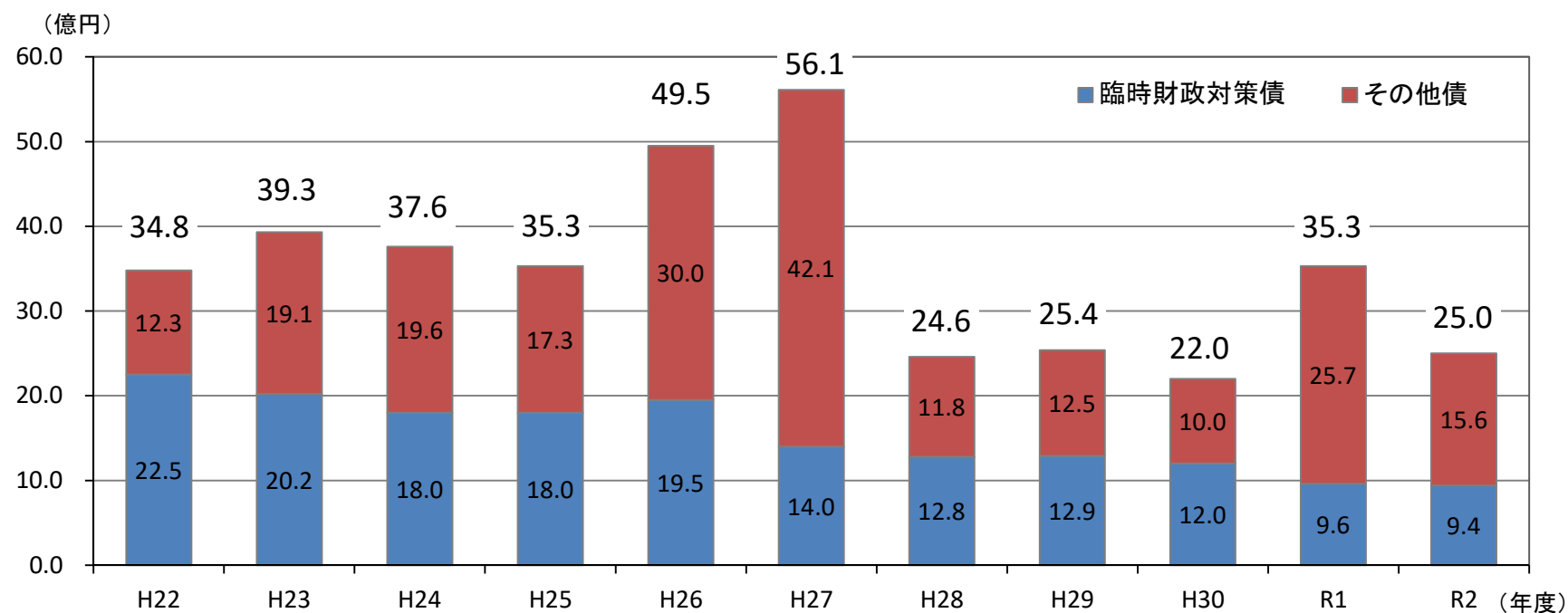
地方交付税予算額（当初予算）の推移

- ・ 地方交付税と臨時財政対策債を合わせた実質的な交付税は2億8千万円増加（地方交付税+3億円、臨時財政対策債▲2千万円）



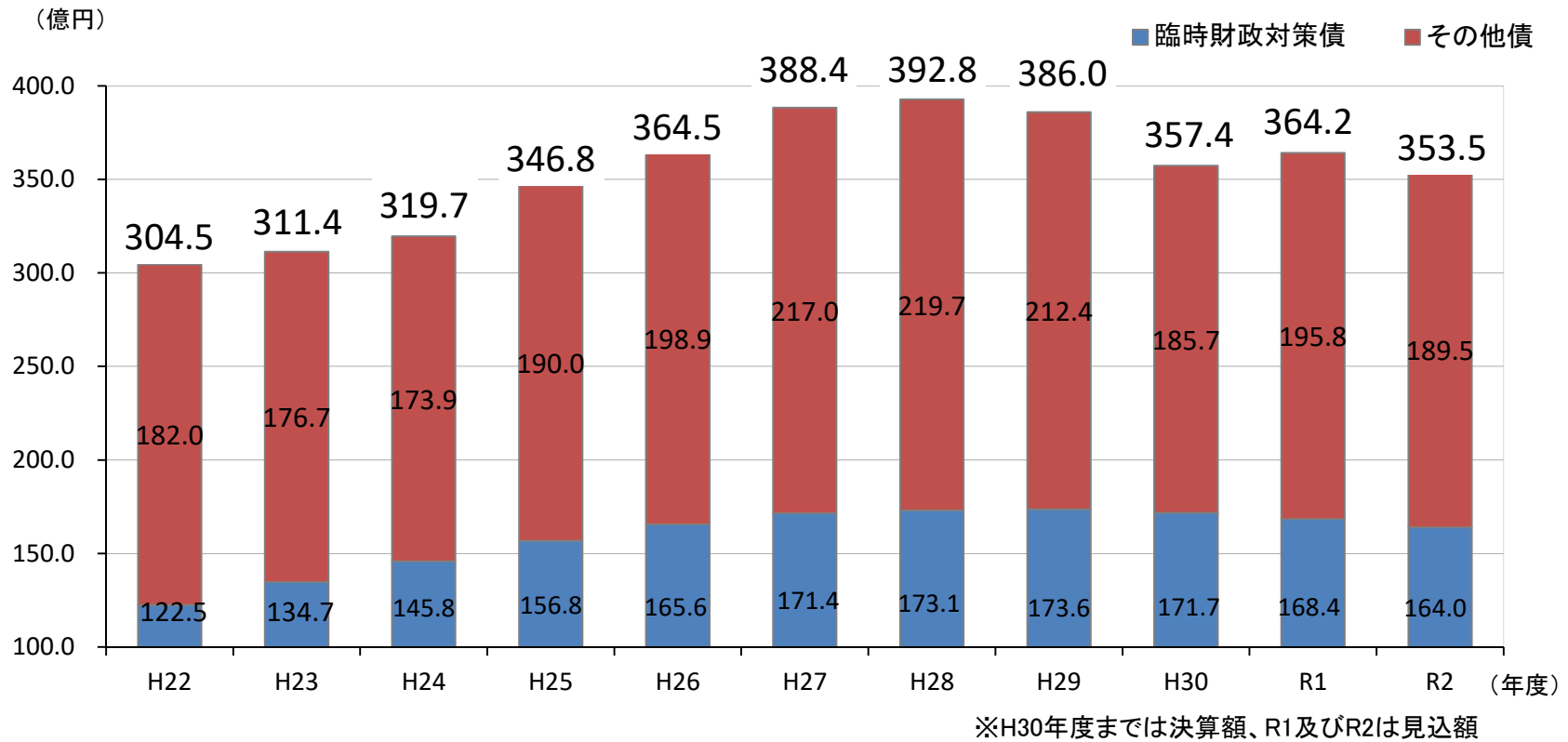
市債予算額（当初予算）の推移

- ・ 市単独分の普通建設事業費の減少により、市債は10億3千万円の減少（平成22年度からの10年間で3番目に少ない）



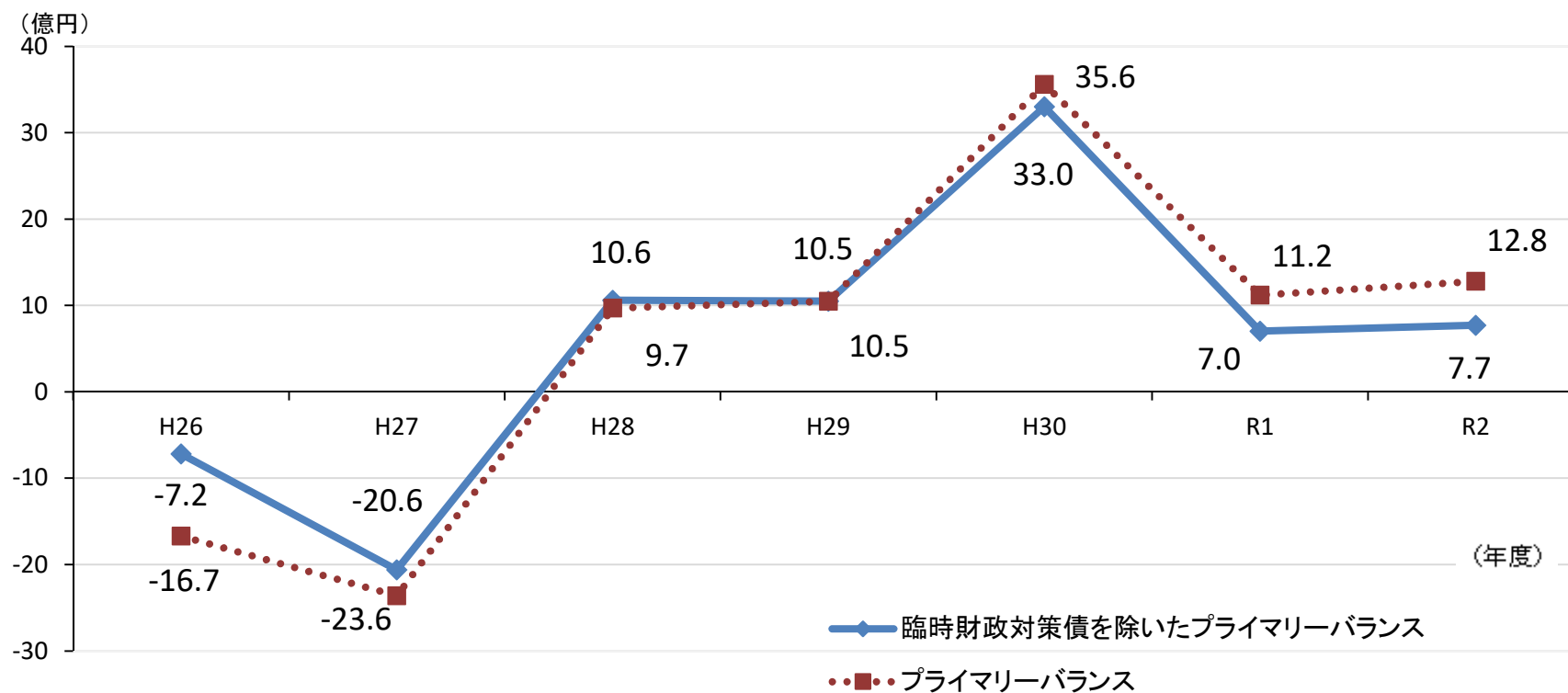
市債残高の推移

- ・ 将来負担の軽減を図ることを目的とする市債の繰り上げ償還を実施すること等により、市債の残高（見込み）は減少



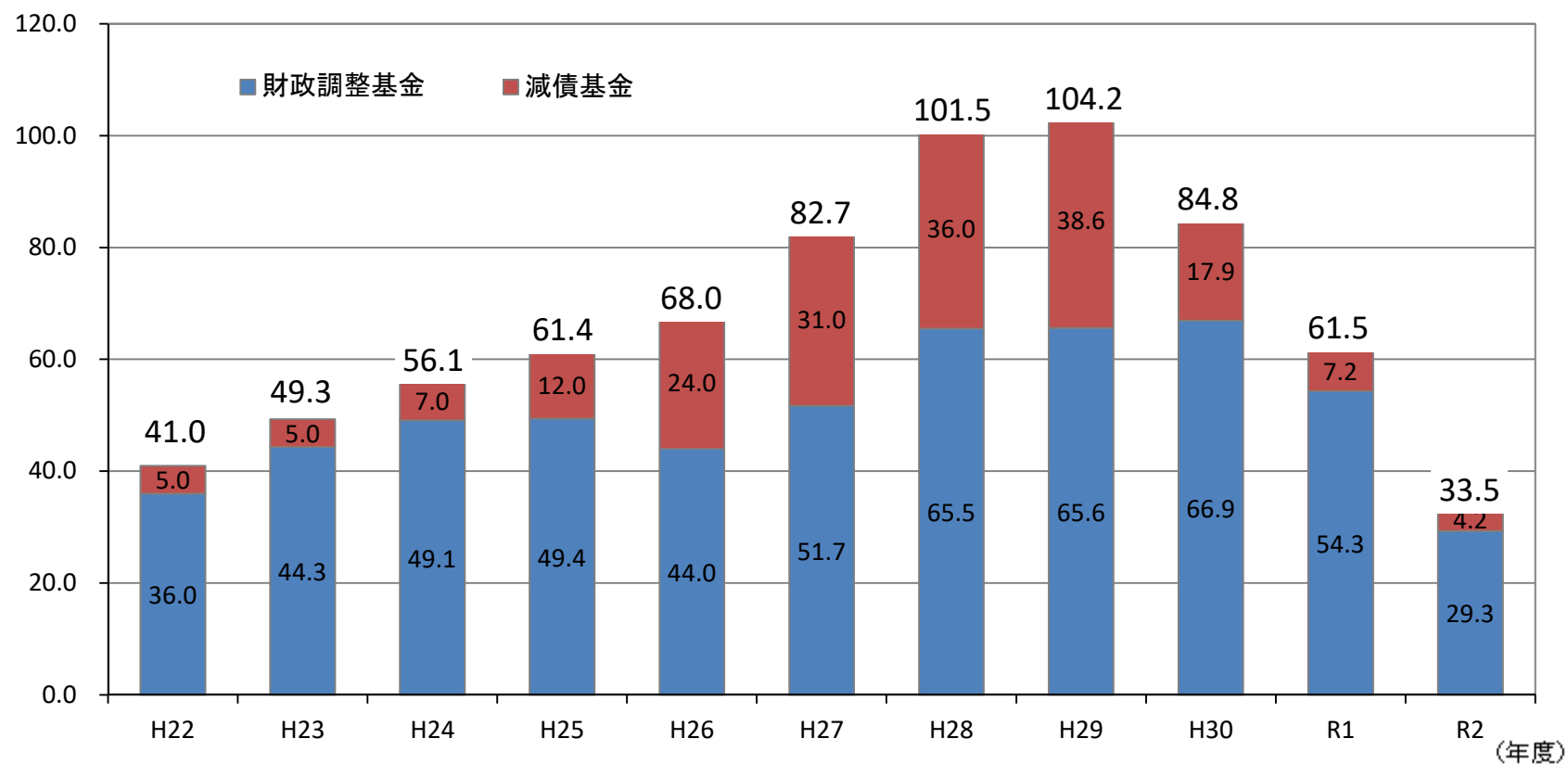
プライマリーバランス（当初予算）の推移

- ・ 市債発行額の減少により、プライマリーバランスは12億8千万円の黒字



積立金残高の状況

- ・ 財源の調整や市債の繰上償還の財源とすることにより、積立金残高は減少



※H30年度までは年度末残高、R1及びR2は年度末残高見込み